

妙法華寺便り

令和6年10月号



和尚さんのよろず話

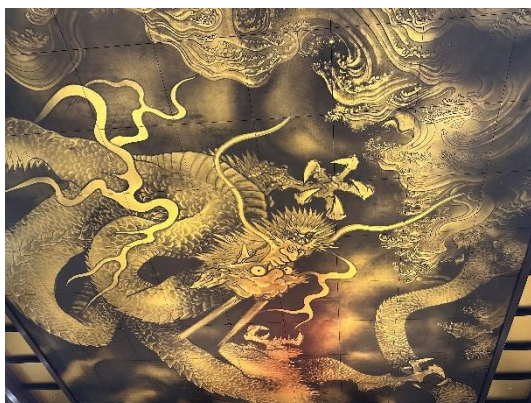
10月10日～11日の日程で日蓮宗総本山身延山久遠寺へ、岡山県宗務所主催の輪番当番として、総勢280名、うち庭瀬組寺20名で参拝して参りました。本堂は、檀信徒の方々でいっぱいでした。2日間とも快晴で良いお参りとなりました。

かつて、日蓮聖人がご健在の頃にも多くの方がこの身延山久遠寺にお参りされておられました。私たちのこの度の参拝は、新幹線から身延線を乗り継いで約5時間で身延に到着しました。しかし日蓮聖人の時代は徒歩ですから、お参りの方の苦労は並大抵のことではなかったと思われます。その中でも佐渡から計三回もお参りをされた方が居られます。佐渡の国で日蓮聖人の弟子となられた阿仏坊です。阿仏坊は日蓮聖人佐渡流罪中に人目を忍んで聖人に供養した日々を忘れることが出来ず、妻の千日尼（せんいちに）に励まされて、身延の日蓮聖人の元へ参られました。大変な信仰の深さであります。

聖人は夫を支えた妻の千日尼に宛てた手紙に、「法華経に、過去に十万億の仏を供養された人は、今生にその功德があるとあります。そうであればあなたは十万億の供養された女性でありましょう。（中略）その上、千日尼あなたは、去る文永十一年から今年の弘安元年まで、五ヶ年にわたって、此の身延の山に佐渡の国から三度までも夫の阿仏坊をつかわされました。その御心は大地よりもあつく、大海よりもふかい御心でありましょう。」と、したためられておられます。

実際に行動された方、それを支えた方みんなに功德があるのです。先人の信仰の純粹さを少しでも感じていただければ幸いです。

次回の参拝はいつになるか分かりませんが、お題目の原点である身延山へ、是非檀家の皆様と一緒に参拝したいと思っております。



◇ 行事報告 ◇

9月18日(水) 摩利支天月例祭

堂内の読誦会に引き続き摩利支天堂にて法樂を行い、家内安全・身体健全等の祈念を申し上げさせていただきました。



9月20日(金) 秋季彼岸・施餓鬼会

午後1時より、庭瀬組寺のお上人方と共に秋季彼岸法要(施餓鬼会)を執行いたしました。檀信徒の皆様より申し込まれた塔婆1体1体に水向けを行い、香を焚き、お経を唱え、ご供養いたしました。皆様ありがとうございました。

また、当日のお世話・ご接待、準備、片付けをして頂きました総代世話人をはじめお手伝いいただきました方々に感謝申し上げます。

今年もお地藏様の赤い服が、富山直子さんのご供養により、新調されました。ありがとうございました。

◇ 行事案内 ◇

摩利支天月例祭

11月は17日(日) 御会式の本堂法要に引き続き
いて行います。

12月18日(水)は本年最後の式典です。

午前10時より執行いたします。ご参加下さい。

お会式法要

11月16日(土) お逮夜・翌17日(日)に執行いたします。16日は午後6時より、17日は、午前10時より一座目、午後2時30分より最終座を始めさせていただきますので、どうぞお参りください。(17日の一座目と最終座の間は随時)、10時の法要後に別紙案内の通り摩利支天月例祭を行いますので、ご参加下さい。



妙法華寺便り9月号でもご案内させていただいておりました「御浄財」を宜しくお願いいたします。また、お寺から直接案内させて頂く檀家の方には、振り込み用紙を同封させて頂いておりますので、宜しくお願いいたします。

◆ 戸守経のご案内 ◆

11月に入りましたら、近郊のお檀家の方には、年末の「戸守の御経」の連絡をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。また、新年を迎えるにあたり、台所・トイレ等の紙札を希望される方は、お寺までご連絡下さい。 合 掌